

信頼の「FRPライニング」で 排水管の耐用年数を40年以上に

老朽化した排水管の耐震補強を実現する工法。既存の排水管の内側にFRP（繊維強化プラスチック）をライニングする特許技術「FRPライニング」により、パイプ・イン・パイプ（内側に新たなパイプを成形すること）を実現。管の耐用年数は40年以上となり寿命を大幅に延ばすと同時に、地震や災害時の配管破損リスクを低減し、腐食や漏水を防ぐことができる。

・特許取得／審査証明取得／20年保証

【特長】

- ①既存の排水管の内側に新たな管を形成するため、塗装方式の更生とは異なり穴の開いた管でも再生可能。
- ②本管だけでなく、地震の揺れや衝撃に弱い枝管分岐部も、切ることなく一体化したFRP施工が可能。
- ③1～2日の短工期を実現している。

■適用箇所

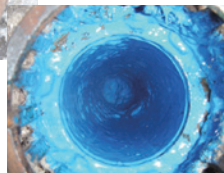
共用部分の排水管（縦管・横主管、枝管分岐部、埋設管）

■使用設備・機材

低騒音型VacLマシン、高圧ジェット洗浄車、PL型パイプ形成機、エポキシ含浸機、加熱プラント、枝管処理機、管内カメラ



施工前



施工後

■施工前後の排水管の比較

①施工前 ②クリーニング後 ③ライニング後



漏水発生



錆瘤除去



漏水解消

施工前



施工後



問い合わせ先

株式会社P・C・Gテクニカ TEL.052-804-0081 <https://www.pcgtxas.co.jp/>